

第フ回例会

平成19年8月22日(水) サンパレス福島

本日のプログラム

1.開会点鐘 2.Rソング「奉仕の理想」 3.四つのテ スト 4.来訪者紹介と会長挨拶 5.幹事報告 6.国 道清掃協力・地区セミナー参加依頼 7. IAC大会 報告 8.各委員会報告 9.閉会点鐘

今月・来月のプログラム

9月 1日(土) 広報委員長会議(辰巳屋)

9月2日(日) 地区米山奨学会セミナー

(郡山市 ビッグアイ)

9月5日(水) 創業記念・職業奉仕発表

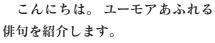
9月10日(月) 県北第一区ガバナー歓迎晩餐会

9月11日(火) 牧公介ガバナー公式訪問





武藤 正隆会長



恋しさも 暑さもつのれば 口開 けて 中村草田男作

[恋は盲目となってホレたハレたの 情痴沙汰となることがある]

自分の愚かさバカさ加減を夏の暑い日に口を開けて 舌を垂らす犬と同じになるという悲しさをユーモアを 込めて作った俳句です。我がクラブ会員の中に、この 俳句の本髄を意味よく理解した方が何人おられるか大 変興味あるところです。

またまた職業奉仕とは何かを考えさせられる事件が 起きました。

「白い恋人」という北海道の名物チョコレート菓子会 社でした。

賞味期限の改ざんが中心ですが、加えて細菌の発生 がさらに加わった事件です。口に入るものへの衛生 管理も含めて緊張感が足りないと思います。

今度の事件で一つ大事に学ばなければならないと思 うことは、慣れと慣習によって手を抜くと、思わぬ事態 に陥ることを教えているように私には思えます。会 社の運命をも左右しかねない大切なことであって、こ の事案に学ぶべきです。

もう一度四つのテストをじっくり学び、それを実行 していくことが大切です。

会社の職業奉仕の大切なことを忘れることなく奉仕 しましょう。

本日のお客様ご紹介



福島成蹊高等学校より、IAC担当教諭佐藤敦子様 芳賀安紗美様 斎藤里菜様 佐藤霞様をお迎え致しま した。

IAC年次大会報告 喜古 勝弘 委員長

8月8日と9日の2日間、郡山自然の家にてIAC年 次大会が開催されました。福島成蹊高等学校より参 加いただき、本日ご報告いただきます。

- ▶事務局/福島市太平寺字過吹6-2 ザ・36・メイファイブ1F2号室 〒960-8151:tel.(024)546-3793 fax(024)545-7878
- ▶例会場/サンパレス福島 福島市上町4-30 〒960-8101:tel.(024)523-3811(代) fax.(024)523-0375
- ▶ HPアドレス: http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html

週間ロータリーレポート NO. 7

く主な内容>

- ○一日目:開会式、日大工学部中村教授による講演会 『福島の水環境~21世紀の市異質保全について』、 フィールドワーク(グループエンカウンター、山登り など)、ロールプレイングBafaBafa
- ○二日目: 牧公介ガバナー講演、ワークショップ分科 会(過剰包装、地球温暖化、消費型社会、自動車社会)

IAC年次大会報告について福島成蹊高等学校の芳 賀安紗美様と斎藤里菜様と佐藤霞様、佐藤敦子先生よ りご報告を頂きました。





芳賀安紗美さんは、フィールド ワークでの山登りから、困難な状況 となったときにどのように切り開い ていくのかといったチームワークの 大切さや、体力のない弱い者に対す る思いやりなどを自然との関わりか

ら学ぶことができたとの感想でした。また、ロールプ レイングBafaBafaでは他を理解することの大切さや、 そのためにも積極的に相手とのコミュニケーションが 必要なことが分かったとの感想が聞けました。



分科会や講演会では、水は私たち にとってとても大切なものだと改 めて知ることができ、いつまでもき れいにしなければならないと感じ たと、斎藤里菜さんからの感想にあ るように普段は気にすることがほ

とんどない身近な水環境を考えること、分科会のテー マのような世界を取り巻く様々な問題点を話し合うこ とから関心を持つことができたとのことでした。



また、佐藤霞さんからは、初めて 会った他校の生徒との体験を通し てお互いを理解しあうことの難し さと大切さを学んだというご報告 がなされました。

二日目に行われた分科会では、各



班によるまとめと発表がなされ、課 題に対して理解することができ、さ らには、何より友情を深めることが できたとのご報告でした。

最後に、IAC担当の佐藤敦子先 生からは、最近ではあまり機会のな

い"汗だく"の学びの機会を与えていただいたとの感 想を頂きました。ホスト校の岩瀬農業高等学校の生 徒と先生方の心温まるおもてなし、充実した研修を目 指した積極的な運営に対して感謝をし、また、二日間を 通して参加した生徒の成長や他校との交流、先生ご自 身にとっても勉強の機会となったことに対するロータ リーへの感謝と生徒と共に、さらに活動を続けていき たいとの抱負を頂きました。